

# 特集 「生きる力と希望をはぐくむ教育の推進」

——「教育の情報化」研究指定校——

## ICTを効果的に活用した 魅力ある授業の工夫



緑区 美園小学校 教諭 古川 勉

### 1 はじめに

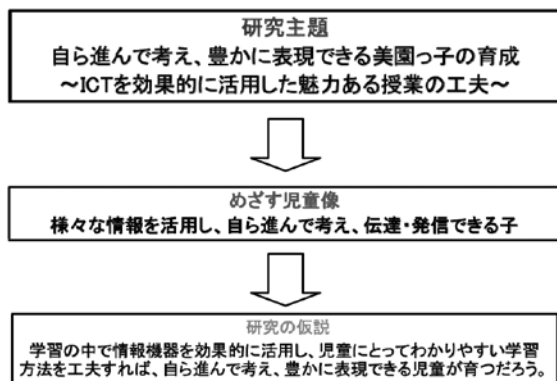
本校は平成24年4月に開校し、開校初年度より特色ある施設設備を生かして、自主研究という形で情報教育研究をスタートさせた。

さらに平成25年度より、さいたま市教育委員会の研究指定を受け、「教育の情報化」の研究を進めてきた。

### 2 研究の概要

#### (1) 研究内容

学校教育目標や児童の実態、教員の願い等を受けて、主題等を次のように設定した。



#### (2) 研究の3つの柱

一つ目は、本校にあるICT機器や設備を積極的に活用するために、大きく次の三つの場所に分けて研究を進めた。

- ①各教室
- ②隣り合うコンピュータ室と図書館を合わせたマルチメディアステーション
- ③3面スクリーンがある多目的ルームのマルチ

ビューシアター である。

二つ目は、「教員や児童の発想、教育的効果を最大限に生かした場づくりの提案」をするために研究の教科領域を固定しないことである。

三つ目は、さくら草特別支援学校と本校の特別支援学級（にじいろ）とのコラボ研究である。

本校にあるICT機器や設備を積極的に活用する  
・教室 コンピュータ(デジタル教科書・デジタル掛け図)・50インチテレビ(電子ボード)・実物投影機・STB等  
・コンピュータ室+図書館(マルチメディアステーション)  
調べ学習・コラボノート・ブリタニカ百科事典・学習探検ナビ  
・2階多目的ルーム(マルチビューシアター)  
3面スクリーン・プロジェクター

教科領域を固定しない  
・教員や児童の発想、教育的効果を最大限に生かした場づくりの提案

他校とのコラボ研究  
・さくら草特別支援学校とにじいろ学級(特別支援学級)とのコラボ

#### (3) 授業実践

① 三面スクリーン…本校舎2階多目的ルーム「マルチビューシアター」の活用

物語の場面を大型スクリーンに映し出して、登場人物の気持ちを考えながら劇をしました。(1年生)

大型スクリーンで、自分の考えを発表しました。

② コラボノート

自動車工場を見学した感想などを、コラボノートを使って意見交換しました。最後は、一人ひとりが未来の車を設計し、プレゼンテーションをしました。(5年生)

③ 教室

児童のノートを、大型テレビに映します。

1年生の生活科で、パソコンを使って、自分たちが作った絵を発表しました。

## (4) 作成指導資料

### ①スキル・モラル指導表

目 標	基本操作	グラフィック	ワープロ・表計算	WEB	情報モラル	
1年	・電源on/off ・マウス操作 ・デジタルカメラの撮影 ・EDプレイヤー操作	・自由自覚描画 (マウス使用) ・全消去	・かな入力 (10分30文字)		・約束やきまりを守ることができる。 ・安全な環境で利用することができる。	
2年	・印刷 ・ファイル呼び出し ・データ保存	・線の太さの変更 ・塗りつぶし ・選択消去	・かな入力 (10分100文字) ・カタカナ変換	・Webページ閲覧		
3年	・ブラウザなど操作ができる。	・ウィンドウの操作 ・デジタルカメラのデータ保存	・写真の貼り付け、拡大・縮小・回転 ・選択消去	・かな入力 (10分150文字) ・漢字変換	・情報検索	・情報には、誤ったものがあることに気づくことができる。
4年		・デジタルカメラの動画撮影	・写真のトリミング	・ローマ字入力 (10分200文字) ・画像貼り付け	・インターネットの活用	・情報には、誤ったものがあることに気づくことができる。 ・不適切な情報に出会ったときには大人に意見を求め、適切に対応することができる。
5年	・アプリケーションの操作方法を理解し、目的に応じて活用することができる。	・データの貼り付け	・文字サイズ変更 ・文字色変更 ・表の作成 ・グラフの作成	・Webページの絵や写真、文章を引用できる。 ・引用の表示	・Webページの絵や写真、文章を引用できる。 ・引用の表示	・予測される危険の内容がわかり、適切に対応をとることができる。 ・情報に関する自分や他者の権利を尊重することができる。
6年		・スキャナで画像取り込み	・センタリング ・右寄せ・左寄せ ・表・グラフ貼り付け	・画像コピー・貼り付け・保存		

### ②情報活用能力指導表

	講 べ る	ま と め る	伝 え る
低学年	・五感を通して、大切な情報に気づくことができる。	・自分の思いや考えを、絵や文章で表現できる。	・自分の考えや気持ちを、周りの人に話したり、書いたりできる。
中学年	・メディアから必要な情報を収集できる。	・自分の思いや考えを、絵や写真等に文をつけて表現できる。	・発表会や交流会で、自分の考えを筋立てて話すことができる。
高学年	・情報収集の手段を適切に選択し、必要な情報を収集できる。	・自分の思いや考えを、機器の特性を考えて選択し、まとめることができる。	・自分に合ったメディアを選択し、情報を伝えることができる。

## 3 成果と課題 (○成果 ●課題)

### 【研究の成果】

- 日常の授業の中で、ICT 機器が積極的に取り入れられ、特にデジタル教科書や実物投影機、デジタルカメラなどは、どの教室でも当たり前のよう利用され、教材の視覚化が進んだ。
- 3面スクリーンのある2F多目的ルーム（マルチビューシアター）の活用方法の幅が広がり、授業に効果的に活用されることが多くなった。



○児童にとっても ICT 機器が身近になり、デジタルカメラやコンピュータなどの使い方に慣れてきた。特に身近になったデジタルカメラは、低学年でも簡単に使えて、授業にも効果的に取り入れられる可能性のあることが実証できた。

○児童の生活全般の中でも ICT 機器が身近な存在になってきた。教員もそれらの状況をしっかりと把握した上で、計画的に授業の中に ICT 機器を導入していくことができれば、児童の興味・関心を高め、より分かりやすい授業展開となることが実証できた。



●たくさんの ICT 機器が導入され、授業を中心に使われることが多くなったが、使いたい時に保管されている場所になかったり、不具合で使えなかったりすることがあり、常時使い易い状態で管理することが課題である。

●施設設備については、3面スクリーンに映し出すプロジェクターの画面の大きさに制限があるので、もう少し大きく映し出せるような方策を探っていきたい。